



2019年10月17日

各 位

上場会社名 株式会社アーレスティ
 代表者 代表取締役社長 高橋 新
 (コード番号 5852)
 問合せ先責任者 執行役員経営企画部長 成家 秀樹
 (TEL 03-6369-8664)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月15日に公表しました2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の連結業績予想(第2四半期累計・通期)及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	65,800	700	600	400	15.44
今回発表予想(B)	62,500	300	100	△20	△0.78
増減額(B-A)	△3,300	△400	△500	△420	
増減率(%)	△5.0	△57.1	△83.3	-	
(ご参考)前第2四半期末績 (2019年3月期第2四半期)	72,250	438	343	363	14.02

(2) 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	134,000	2,700	2,500	1,700	65.60
今回発表予想(B)	123,400	900	700	200	7.81
増減額(B-A)	△10,600	△1,800	△1,800	△1,500	
増減率(%)	△7.9	△66.7	△72.0	△88.2	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	145,428	3,228	2,905	421	16.26

(3) 修正の理由

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、米中貿易摩擦の長期化や中国、インドにおける経済成長の鈍化に加え、各国の自動車に対する政策変更等の影響もあり、自動車販売が減速しています。このためダイカスト事業の販売量が国内・海外ともに弱含みで推移し、売上高は当初計画を下回る見込みとなりました。また、利益面についても、原価低減や生産性改善等に努めたものの、販売量下振れの影響を補うまでには至らず、当初計画を下回る見込みとなりました。

こうした状況に対し、当社グループでは今年度からスタートした1921中期経営計画に基づき、より一層の原価低減活動と生産性改善に向けた施策を実施してまいります。通期連結業績予想につきましても、第2四半期の見通しを踏まえ見直しを行った結果、引き続き自動車販売の減速が続くことが予想されることから、現状の業績動向に沿って前回公表値を修正いたします。

なお、為替レートにつきましては、107.0円/米ドル、16.0円/元、1.5円/インドルピーを前提としております。

2. 配当予想の修正について

(1) 配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	10円00銭	12円00銭	22円00銭
今回修正予想	8円00銭	10円00銭	18円00銭
当期実績			
前期実績(2019年3月期)	10円00銭	12円00銭	22円00銭

(2) 修正の理由

当社は、中長期的な事業発展のための財務体質と経営基盤の強化を図ることを考慮しつつ、適正な利益還元を行うことを基本方針とし、中長期の企業成長に必要な投資額及び配当性向を勘案したうえで、連結業績の動向も十分考慮した配当を行っていくこととしております。

業績が当初計画を大幅に下回る見通しとなったことを踏まえ、当社の方針から総合的に判断し、誠に遺憾ではございますが、第2四半期末配当(中間配当)及び期末配当予想を修正させていただきます。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の補足資料

通期連結業績予想のセグメント情報

セグメント	売上高(百万円)			セグメント利益(百万円)		
	前回予想	今回予想	増減	前回予想	今回予想	増減
ダイカスト事業 日本	64,600	61,000	△3,600	200	△100	△300
ダイカスト事業 北米	34,000	31,500	△2,500	1,000	750	△250
ダイカスト事業 アジア	28,500	24,400	△4,100	1,200	△50	△1,250
アルミニウム事業	4,400	4,100	△300	200	200	-
完成品事業	2,500	2,400	△100	100	100	-

為替レートの前提(第2四半期以降:107.0円/米ドル、16.0円/元、1.5円/インドルピー)

(前回予想:107.0円/米ドル、16.0円/元、1.5円/インドルピー)

以上